

学ぼう伝えよう

輝く 恵那人 HUMAN WATCH



174
人目



岩村町一色
しばた まさき
柴田 正樹さん 73歳

□プロフィール

定年退職後の現在は、子ども園送迎バスの運転手として園児の安全を見守っている。孫と野球観戦に行くのが何よりの楽しみ。

伝統芸能を若い世代へ 岩村町獅子舞の保存伝承に尽力

「獅子舞を好きになつてくれる人を一人でも増やしたい」と話すのは、岩村町獅子舞保存会で歌い手や総括的指導者を務める柴田正樹さん。50年以上にわたり、岩村町獅子舞の保存伝承に尽力している。

岩村町獅子舞は、城下町農村地区の「入り四郷」と呼ばれる一色、領家、大通寺、山上の4地域で伝えられている民俗芸能。雌の獅子頭をかぶり女装した男性が、「悪魔払い」「おかめひょっとこ」「獅子芝居」などを、歌い手の歌に合わせて舞い演じるというもの。起源は江戸時代ともいわれ、県の重要無形民俗文化財に指定されている。同町の秋祭りでは、毎年路上で上演されている。

「幼い頃から父が演じる獅子舞を観るのが好きだった」と言う柴田さんは、昭和43年、22歳で保存会に入会。身長178cmの柴田さんは女性を演じるには長身だったため、主にひょっとこなどの男性役を演じていた。27歳からは指導者としても活動し、後輩の育成に力を入れていった。そんな中、当時歌い手として将来を期待されていた先輩が急逝した。声質の良さを買われた柴田さんが、急きょ次世代の歌い



▲獅子の舞いに合わせ歌う柴田さん（左）

手に抜てきされた。突然のことに戸惑いながらも、その日から師匠の家に夜な夜な通い、一対一で指導を受ける日々が始まった。数年間修業を積んだ後、歌い手として本格的に活動することとなった。

自身の芸を磨く傍ら、中学生などにも獅子舞を積極的に指導。また会員からの「気兼ねなく練習できる場所が欲しい」との声にこたえ、稽古場の建設にも奔走し、平成16年に獅子舞会館を完成させた。これら数々の貢献が認められ、今年2月には、県伝統文化継承功績者として顕彰された。「伝統芸能は、途切れさせず地道に伝えていくことが大切」と話す柴田さん。「歌は健康にも良いので、自分のためにも続けていきたい」と優しい笑顔を見せた。



はじめまして
えなっ子
出生おめでとう
(2/16~3/15届出分)

() は保護者



<p>1歳おめでとう！ 陽太のことが大好きだよ。元気にすくすく育ってね。</p> <p>西尾陽太くん 大井町 父 祐太郎さん 母 優香さん</p>	<p>1歳おめでとう！ 心くんの笑顔が大好き♡すくすく大きくなってね！</p> <p>鷹見心満くん 大井町 父 峻さん 母 奈々花さん</p>	<p>つむぎです4月からはがんばってことも園に通います。よろしくね！</p> <p>宮澤 紬ちゃん 岩村町 父 竜真さん 母 恭子さん</p>	<p>みなと1歳おめでとう♡生まれてきてくれてありがとう♡</p> <p>大森湊翔くん 長島町 父 諒太さん 母 恵美さん</p>
-----------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

5月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に①住所②氏名(ふりがな)③生年月日④性別⑤電話番号⑥両親の氏名(ふりがな)⑦32字以内のコメント⑧ケーブルテレビ放映の可否-を添えて、4月15日(月)までに郵送か電子メールで申し込んでください。掲載は先着8人までとします。

□申し込み・問い合わせ
〒509-7292(住所不要)
総務課広報広聴係
☎26-2111(内線323)
✉info@city.ena.lg.jp



5年生
渡邊 虎太郎くん

地図を見ながら災害が起きたときの、地域の危険な場所を仲間と確認しています。災害が起きたら、どのような行動をすればいいのかを考えました。5年間で学習した防災知識が、災害が起きたときには役に立てばいいです。

6年間を通して 防災を学ぼう！

武並小学校

1年生から6年生までの6年間で、学年に合わせた防災学習を継続して行っています。3月6日は5年生27人が、D-I-G(災害図上訓練)を行いました。この学習で使用した地図は、5年生が夏休み前に自分たちで作成した物です。

今回の授業では地区ごとに分かれて、恵那市防災研究会や自治会、地元消防団員と一緒に、危険箇所を想定して作成した地図を見直しました。災害が発生した場合、どのように対応したらいいのか、どんなことができるのかを学びました。

